

# 第63期 報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

感動をかたちに ▶▶  
*Turn the delight into reality*

 TOKAI RIKA

株式会社 東海理化

(登記社名 株式会社 東海理化電機製作所)



取締役社長

牛山 雄造

取締役会長

木下 潔

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第63期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、当期の業績および対処すべき課題につきましてご報告申し上げます。

### 当期の業績

当期は、各国における景気対策の効果を背景に景気が底入れし、緩やかな回復基調となりました。自動車業界におきましても、米国では、販売台数が前年を下回ったものの、欧州や中国、インドやブラジルでは、各国の政府支援策の効果もあり増加となりました。日本でも年初の深刻な不況の影響で販売台数が減少していましたが、エコカー減税、補助金による政府支援策の効果を背景に増加し、前年を若干上回りました。

このような環境下におきまして、当社グループは、厳しい状況乗り越えるため、一昨年末より緊急利益対策を実施するとともに構造改革プロジェクトを立上げ、製品のコスト競争力、国内外子会社の経営体質および環境・小型車向け製品の強化を図り、SE活動によるモノづくりの効率化を推進するとともに、間接部門の効率化を実施してきました。また、厳しい外部環境下におきましてもお客様の期待に応える「品質の東海理化」の確立の

ため自工程完結活動を実践し、次世代の自動車のための新商品開発およびそれに必要な要素技術開発のスピードアップを図りつつ、中国拠点での工場増築やインドでの工場立上げ準備を実施し、新興国への供給体制を整えてまいりました。

当期の業績につきましては、売上高は3,310億1千4百万円と前期に比べ64億3百万円の減収となりました。利益につきましては、円高等の影響はあるものの、経営全般にわたる合理化に継続的に取り組んだことにより、経

### 対処すべき課題

当社グループとしましては、自動車販売台数は先行き不透明な部分もあり、低調に推移すると思われます。また、自動車市場が新興国へシフトすることに伴い、車両やその部品の低コスト化が一層進み、収益を確保するには厳しい状況が見込まれます。この状況乗り越えるため、構造改革テーマとして次世代の柱となる製品の先行開発の強化および低コスト製品の競争力向上に取り組み、全世界での最適生産および最適サプライチェーン（SCA）の徹底的な見直しを実施してまいります。また、従前からの重点継続事項として、お客様の期待に応える「品質の東海理化」の確立のため、品質未然防止活動の強化に

常利益は203億7千2百万円と前期に比べ193億5千2百万円、当期純利益は126億3百万円と前期に比べ115億4千万円それぞれ増益となりました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金を1株につき8円とさせていただきました。期末配当金としまして、1株につき24円としました。これにより中間配当金を含めました当期の配当金は、前期と同額の1株につき32円となりました。

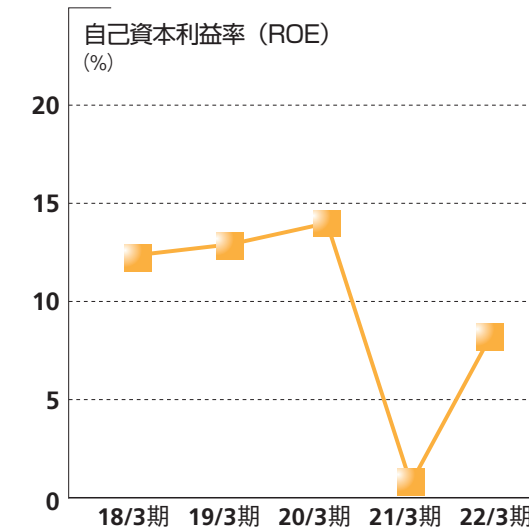
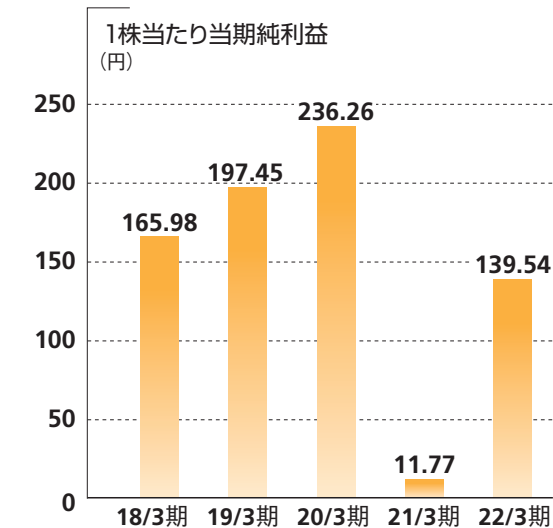
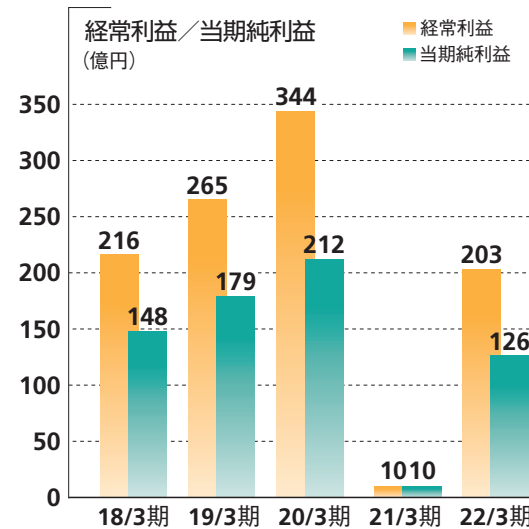
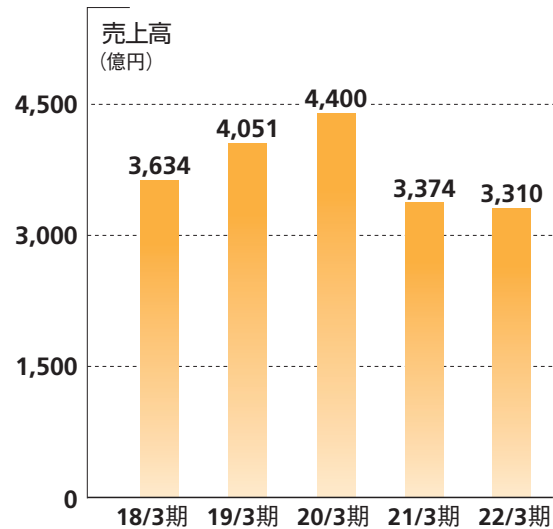
よる品質基盤の更なる強化、グローバル品質保証の仕組みづくり、市場問題のより一層の早期解決に取り組んでまいります。

これらの課題に対し、グループを挙げて「スピード」「実行」「フォロー」を機軸に徹底して取り組み、成果を出すとともに、法令遵守、社会貢献など社会的責任を果たすことで企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

## ▶▶ 連結決算ハイライト



## ▶▶ 地域別状況

### 日本

売上高は2,443億9千9百万円と前期に比べ17億1千4百万円 (△0.7%) の減収となりました。利益面は、売上高の減少や円高の影響があるものの、合理化等に積極的に取り組んだことにより営業利益78億4千万円と前期に比べ125億7千万円 (一%) の増益となりました。

### 北米

売上高は575億7百万円と前期に比べ18億8千3百万円 (3.4%) の増収となりました。利益面は、円高の影響があるものの、売上高の増加や合理化等の効果により営業利益14億9千6百万円と前期に比べ43億3千9百万円 (一%) の増益となりました。

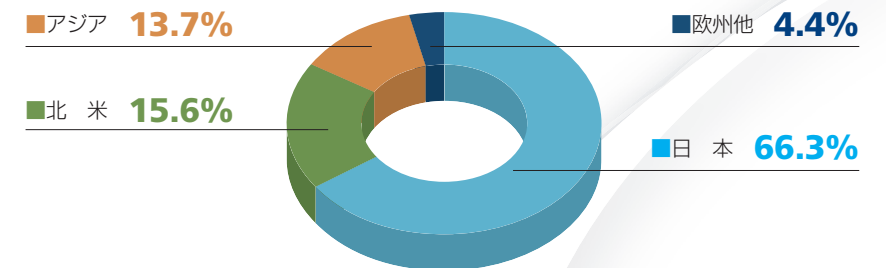
### アジア

売上高は504億5千3百万円と前期に比べ7千7百万円 (0.2%) の増収となりました。営業利益は、合理化等の効果により71億8千9百万円と前期に比べ4千9百万円 (0.7%) の増益となりました。

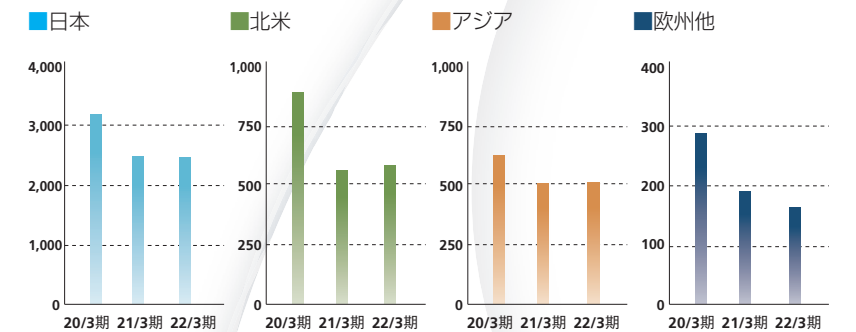
### 欧州他

売上高は161億円と前期に比べ26億9千3百万円 (△14.3%) の減収となりました。営業利益は、売上高の減少があるものの、合理化等の効果などにより9億3千5百万円と前期に比べ7億9千5百万円 (567.4%) の増益となりました。

### 地域別売上高構成比

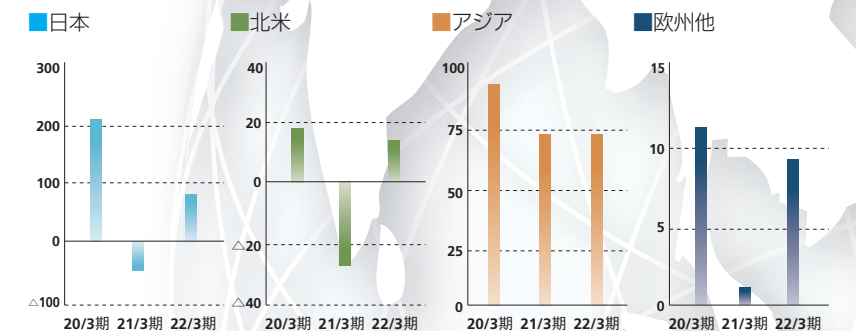


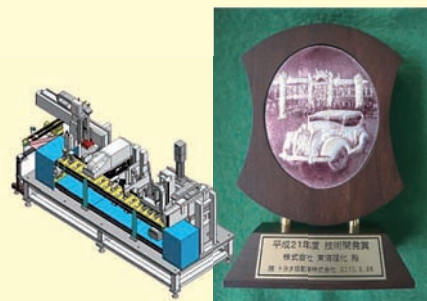
### 地域別売上高 (億円)



※内部売上高控除前の数字です。

### 地域別営業利益 (億円)





トヨタ自動車(株)より技術開発賞を受賞

今年2月に開催されたトヨタ自動車(株)のグローバル仕入先総会にて、当社の「水素リーク検査器」がその独自で高度な技術を評価されて、技術開発賞を受賞しました。この「水素リーク検査器」はプラグイン・ハイブリッド車の生産設備に使用されるものであり、お客様の車両生産性向上に貢献するものです。

インド新会社 TRMNが竣工

一昨年8月に設立しました当社のインドにおける第2拠点である TOKAIRIKA MINDA INDIA Private Limited (=TRMN) が竣工し、工場の引渡し式が2月27日に執り行われました。今年11月の工場稼働に向けて、今後、設備・機材の設置、量産トライアルなどが行われていきます。



中国広州子会社 TRCFを増築

中国広東省における当社子会社である佛山東海理化汽車部件有限公司 (=TRCF) の増築工事が進められています。一昨年秋からの急激な環境変化を受けて、一時工事を見合わせておりましたが、成長を続ける中国市場への対応を強化するため、生産能力の5割増を目指し、今年9月に竣工する予定です。



第2半導体工場稼働が本格化

第2半導体工場の完成後、インテリジェントセンサー (HV、EVに必要な高信頼性の無接点SW：シフター、パドルSW 用など)、カスタムIC (イモビライザー用ほか) の段階的な生産量の拡大を進めておりましたが、この度、生産の昼夜動 (=2直化) が実施され、設備稼働率が当初の想定レベルに達してまいりました。2012年には、ほぼフル稼働の状態になる予定をしております。これらの車載用半導体IC/センサー技術を発展させ、より電子化される車の小型高機能で高信頼な製品を今後お客様に提供してまいります。

人の意思を伝えるスイッチをはじめとする快適なヒューマン・インターフェイス、財産としてのクルマを守る安心のセキュリティシステム、人の生命を安全に守るセーフティシステム。その基盤となるエレクトロニクス技術を駆使して、これら人とクルマがふれあう3つの分野で「快適、安心、安全」をお届けしています。

Switch/Interface

スイッチ/インターフェイスシステム

ドライバーの意思を車に正確に伝える適度な操作性と判りやすさ、機能美を追求した製品を提供しています。



エレクトロソフトタッチ



レバーコンビネーションスイッチ



プッシュスタートスイッチ

Security

セキュリティシステム

高度な盗難防止機能を機械的・電子的に実現し、安心と使いやすさを両立させる製品を提供しています。



スマートキー携帯機 & エマージェンシーキー



リモートキー&レーザー



イモビライザー

Safety

セーフティシステム

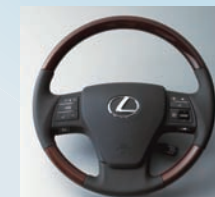
万一の衝突時に乗員を保護するシートベルト、操舵する手になじむ質感の高いステアリングホイール、視認性を向上するミラー製品などを提供しています。



ブリアクラッシュ対応機能付きシートベルト



サイドターンランプ・足元照明付きドアミラー



本車ステアリングホイール(※)

Electronics & Others

エレクトロニクス&その他

自動車用エレクトロニクス関連製品



電源ECU

車両のエレクトロニクス化に対応した機能制御・状況検知用製品や、各種コネクタなどを提供しています。



住宅用電気錠「ラ・ロック」

自動車装飾品



オーナメントなど車を引き立てる装飾品を当社独自にデザイン提案し提供しています。

※ステアリング事業は豊田合成(株)と協業しています。

## ▶▶ 連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当期 (22.3.31現在)	前期 (21.3.31現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>151,620</b>	<b>97,523</b>
現金及び預金	23,484	16,060
受取手形及び売掛金	59,796	35,766
有価証券	34,811	12,564
棚卸資産	21,640	20,349
その他	11,887	12,782
<b>固定資産</b>	<b>118,117</b>	<b>129,061</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>74,113</b>	<b>80,057</b>
建物及び構築物	27,933	27,689
その他	46,179	52,367
<b>無形固定資産</b>	<b>2,518</b>	<b>3,136</b>
投資その他の資産	41,485	45,867
<b>資産合計</b>	<b>269,737</b>	<b>226,584</b>

連結損益計算書 (単位: 百万円)

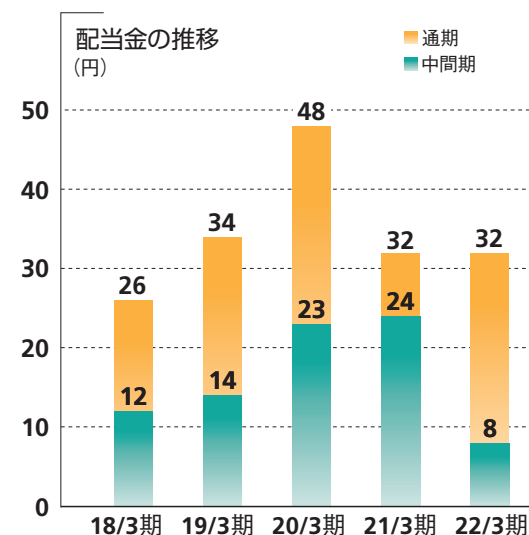
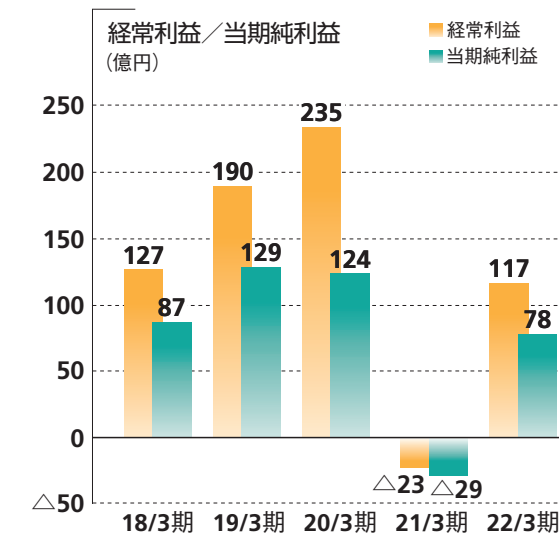
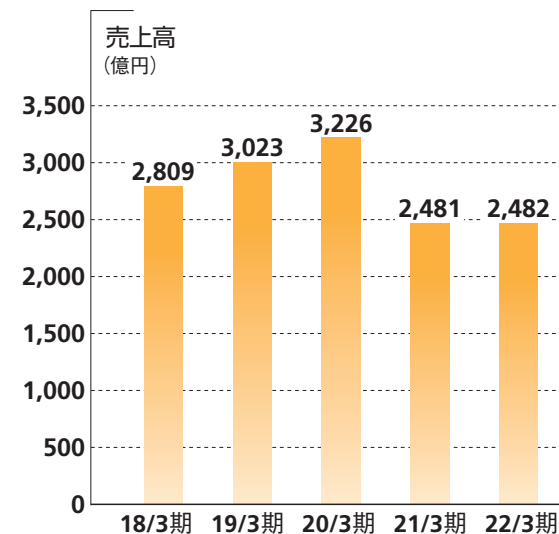
科目	当期 (自21.4.1 至22.3.31)	前期 (自20.4.1 至21.3.31)
売上高	331,014	337,417
売上原価	283,607	302,710
売上総利益	47,406	34,706
販売費及び一般管理費	29,374	33,895
営業利益	18,032	811
営業外収益	2,847	1,795
営業外費用	506	1,586
経常利益	20,372	1,020
特別利益	14	1
特別損失	54	118
税金等調整前当期純利益	20,331	902
法人税、住民税及び事業税	5,605	132
法人税等調整額	1,409	△1,034
少数株主利益	713	741
<b>当期純利益</b>	<b>12,603</b>	<b>1,063</b>

科目	当期 (22.3.31現在)	前期 (21.3.31現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>79,789</b>	<b>56,630</b>
支払手形及び買掛金	46,250	28,928
未払費用	10,349	7,741
その他	23,189	19,959
<b>固定負債</b>	<b>26,397</b>	<b>19,574</b>
長期借入金	8,286	1,308
退職給付引当金	17,094	17,360
その他	1,014	905
<b>負債合計</b>	<b>106,187</b>	<b>76,204</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>164,189</b>	<b>153,069</b>
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,142
利益剰余金	123,234	112,118
自己株式	△7,035	△7,047
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△4,908</b>	<b>△6,246</b>
その他有価証券評価差額金	507	△1,322
為替換算調整勘定	△5,415	△4,923
<b>新株予約権</b>	<b>524</b>	<b>360</b>
少数株主持分	3,744	3,196
<b>純資産合計</b>	<b>163,550</b>	<b>150,379</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>269,737</b>	<b>226,584</b>

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当期 (自21.4.1 至22.3.31)	前期 (自20.4.1 至21.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,650	20,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,213	△25,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,612	△3,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	271	△1,667
現金及び現金同等物の増減額	29,320	△10,574
現金及び現金同等物の期首残高	25,008	35,419
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	80
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△12
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	94
現金及び現金同等物の期末残高	54,329	25,008

## ▶▶ 個別決算ハイライト



### 配当金について

平成22年6月22日開催の第63回定時株主総会において、平成22年3月31日を基準日として行う期末配当につき、次のとおりご承認いただきました。

1	期末配当金	1株につき24円
2	期末配当の効力発生日 (支払開始日)	平成22年6月23日

## 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

### 株式の総数

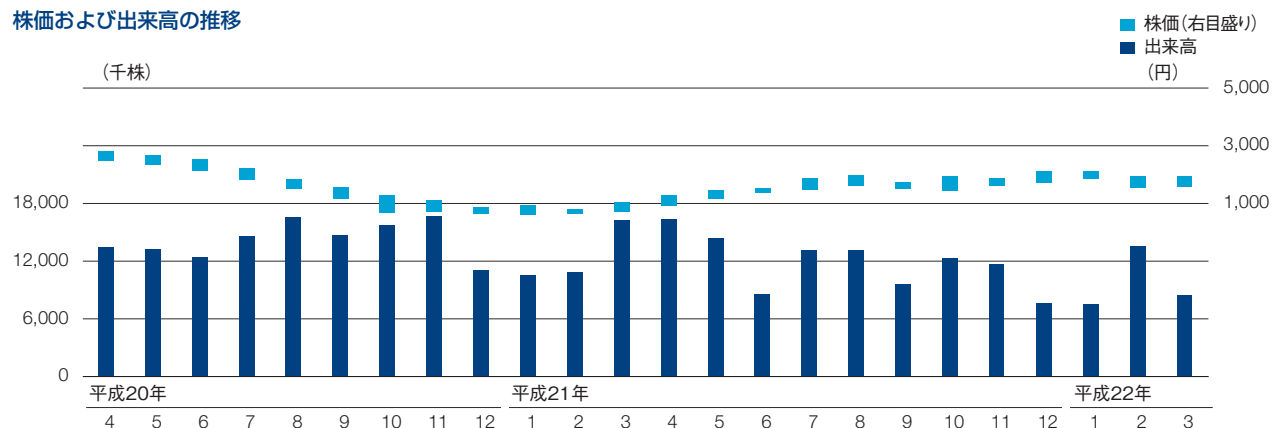
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	94,234,171株
株主数	10,324名

### 大株主 (上位10名)

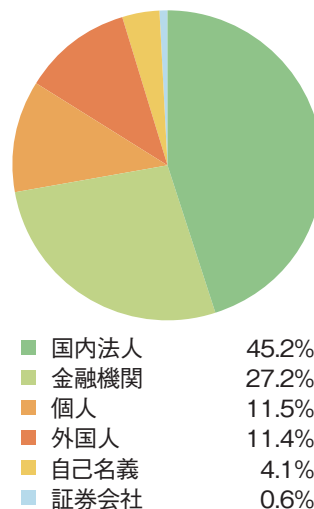
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	29,367	31.16
株式会社デンソー	8,839	9.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,637	9.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,722	5.01
第一生命保険相互会社	2,375	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,014	1.07
東海理化社員持株会	834	0.88
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	805	0.85
シービーロンドンオールイーフاند116	799	0.84
あいおい損害保険株式会社	730	0.77

(注) 1.当社は、自己株式3,910千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2.第一生命保険相互会社は、平成22年4月1日をもって第一生命保険株式会社に商号変更をしております。

### 株価および出来高の推移



### 株式の所有者別分布状況



## 会社情報

### 会社概要 (平成22年3月31日現在)

資本金	228億円
従業員数	連結 15,028名 単独 6,054名
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地(〒480-0195) TEL (0587)95-5211(代表)
主要な事業所	本社工場、西枇杷島工場、豊田工場、音羽工場、萩工場(以上愛知県) 東京営業所(神奈川県)、大阪営業所(大阪府)、広島営業所(広島県) 東北技術センター(山形県)
連結子会社	28社(日本8社、北米6社、アジア10社、欧州他4社)
持分法適用会社	6社(日本3社、北米1社、アジア2社)

### 主要な海外の連結子会社・関連会社



連結子会社	所在地	会社名
TOKAI RIKA (THAILAND) CO., LTD.	タイ	TOKAI RIKA (THAILAND) CO., LTD.
TRAM, Inc.	アメリカ	TRAM, Inc.
TRMI, Inc.	アメリカ	TRMI, Inc.
TAC Manufacturing, Inc.	アメリカ	TAC Manufacturing, Inc.
TRIN, Inc.	アメリカ	TRIN, Inc.
Quality Safety Systems Company	カナダ	Quality Safety Systems Company
天津東海理化汽車部件有限公司	中国	天津東海理化汽車部件有限公司
無錫理昌科技有限公司	中国	無錫理昌科技有限公司
佛山東海理化汽車部件有限公司	中国	佛山東海理化汽車部件有限公司
理嘉工業股份有限公司	台湾	理嘉工業股份有限公司
TRP, Inc.	フィリピン	TRP, Inc.
Tokai Rika Asia Co.,Ltd.	タイ	Tokai Rika Asia Co.,Ltd.
関連会社		
TOKAI RIKA (THAILAND) CO., LTD.	タイ	TOKAI RIKA (THAILAND) CO., LTD.
Thai Seat Belt Co., Ltd.	タイ	Thai Seat Belt Co., Ltd.
TOKAI RIKA MINDA INDIA Private Limited	インド	TOKAI RIKA MINDA INDIA Private Limited
TRB Limited	イギリス	TRB Limited
TRCZ s.r.o.	チェコ	TRCZ s.r.o.
Tokai Rika Belgium N.V.	ベルギー	Tokai Rika Belgium N.V.
TRBR Industria e Comercio Ltda.	ブラジル	TRBR Industria e Comercio Ltda.
TGR Technical Center, LLC	アメリカ	TGR Technical Center, LLC
株式会社新昌電機	韓国	株式会社新昌電機
株式会社STF	韓国	株式会社STF
MINDARIKA PRIVATE LIMITED	インド	MINDARIKA PRIVATE LIMITED

### 役員一覧 (平成22年6月22日現在)

取締役会長	木下 潔
取締役社長	牛山 雄造
取締役副社長	土屋 隆興
取締役副社長	加藤 茂
専務取締役	佐々木 芳輝
専務取締役	水野 隆文
専務取締役	恒川 清
専務取締役	後藤 真
専務取締役	岩田 仁
常務取締役	服部 峰雄
常務取締役	石田 昭二
常務取締役	濱本 忠直
常務取締役	平野 均
常務取締役	森 幹宏
常務取締役	河口 憲司
取締役	中村 弘之
取締役	脇谷 忠志
取締役	武馬 宏治
取締役	大林 良弘
取締役	谷野 雅春
取締役	松山 昌樹
取締役	佐藤 幸喜
常勤監査役	久保田 一久
常勤監査役	西尾 弘
監査役	上坂 凱勇
監査役	加藤 光久
監査役	白崎 慎二

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
証券コード	6995
株式名義書換 株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋市中区栄三丁目15番33号 (〒460 - 8685) 中央三井信託銀行株式会社名古屋支店証券代行部 フリーダイヤル 0120-78-2031
同事務取扱場所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
上場取引所	電子公告
公告の方法	ただし、電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。 (アドレス) <a href="http://www.tokai-rika.co.jp/">http://www.tokai-rika.co.jp/</a>

## ホームページをご利用ください

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社の幅広い情報を提供しています。なお、公告についても、ホームページに掲載いたします。皆様のアクセスをお待ちしております。

<http://www.tokai-rika.co.jp/>



## お知らせ

- 1. 未受領の配当金のお受取りについて**  
上記株主名簿管理人にお申出ください。
- 2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等について**  
口座を開設されている証券会社にお申出ください。  
なお、特別口座に口座をお持ちの株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
  - フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付、自動音声案内)
  - ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)
- 3. 「配当金計算書」について**  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。  
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

